

なかよし・けんこう・どいよく

天見小校長室だより 4月号

人の温かみを感じられる学校 みんなで笑顔と元気を作り出せる学校

令和8年4月8日
天見小学校

学校長あいさつ

今年で、天見小学校でお世話になって4年目に入りました。校長の 杉田 京子 と言います。今年度も、保護者の皆さんや地域の皆さん、そして何よりとてもかわいい子どもたちと一緒にいろんなことをがんばることがとてもうれしくて、早く4月8日を迎え、子どもたちに会いたい気持ちで、うずうずしておりました。今日は、子どもたちの元気な「おはようございます。」の声と明るい笑顔に会い、この一年間のやる気をたくさんもらったように感じました。とても嬉しかったです。至らぬところも多々あるかと思いますが、本年度も、学校・家庭・地域の三位一体で子どもたちの成長をともに喜び合える学校にしていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

今、天見小学校は、桜が満開でとても美しい花々を教室や校長室から眺めることができます。この桜のほのぼのとした花卉のように、天見の里のとても温かい「自然や人」とのつながりを大切に、教職員ともども頑張ります。

赴任して3年の間だけでも、実のある「本物の学習」を「体験」できることが、たくさん増えてきました。キノコ植えやしめなわやリースづくりなど、自然を生きる中で日本古来より大切にしている文化を教えてください。提供して下さっている地域の方々には感謝しようのない素敵な時間を頂戴し、ありがたく思っております。そして保護者の皆様には、子どもたちや保護者同士の絆をより深いものとして下さっているふれあい参観などを計画・実行して下さりありがとうございます。子どもたちにとって学校という場所が、ただ机上の学習だけに終わらず、行事や学びがたくさんある楽しいところにしていくことに感謝します。自然豊かな山間の小さな学校ですが、だれしものびのびとし、自分を出すことができやすい環境の中、子どもたちはまっすぐに育っています。もちろん、ときどきは、ケンカすることも傷ついたりすることもあるでしょう。でも温かいつながりの中で、みんながそれぞれの課題を克服して卒業の日を立派に迎えて、巣立っていく卒業生を誇りと思うのです。天見小学校を母校と慕い、出向いてくれる卒業生たちもたくさんいます。小さな子どもたちの元気な声のする天見小学校の存在が、町の活性化にも一役でも二役でも担えればいいなと思います。小学校と地域と保護者と、三位一体で子どもたちの成長を見守れるこの地は、正に理想郷と言えます。素晴らしい環境の中で教育出来ることへの感謝と、子どもからもらう様々な感動を日々感じながら、子どもたちの感性を豊かにしていきたいと考えています。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

今年度、新たな取り組みとして「異学年集団による個別最適な学びと協働的な学び」を遂行するべく、縦割り活動を学習の中にも入れ、「縦割り総合」の時間を設けます。7月～10月初旬でトライしてみようと思っています。この取り組みでは、自分の興味のある分野を自己決定し「自分の好き」を学習できる自主性を育てること、また協働的な学習を通して「好き」な学習について学年関係なく切磋琢磨しながら学べる集団を作ること、さらに異学年で進めることで、下の学年は上の学年から学び方を伝授してもらえることや上の学年は下の学年に教えることで、自己肯定感・自己有用感の育成されることなどを目的として

います。天見の縦割りでの関係がしっかりとできているからこそ、学習面でもそれを生かした取り組みはできないかと考えました。2030年になる新学習指導要領の中で、情報活用能力を生かした探究的な学び、自主性を重んじる学び、協働的な学び、そして総合について力を入れるよう指針で示されております。天見小学校では、一足先の教育に目を向け、実現に向けて取り組んでいきます。皆様と手を携え力を合わせ、頑張りますのでどうぞよろしくお願いたします。新入生12名、転入生5名を新たに迎え、計71名で創立137年目の春をスタートします。

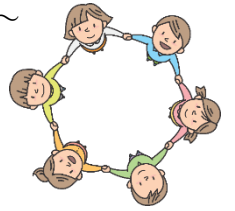
学校運営目標

■『学校教育目標』
なかよし・けんこう・どいよく
～知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな

学校教育で大切にしていきたいことは、
昨年度と変わりありません。

■『めざす学校像』
人の温かみを感じられる学校
(地域と保護者と学校と) みんなで笑顔と元気を作り出せる学校

子どもの育成～



■『めざす子ども像』
あ…あいさつ ま…まなびあい み…みとめあい ができる子に！

■『めざす教師像』
「三感王をめざせ！」…子どもたちが「感性・感動・感謝」の三タイトルを勝ち取れるように！

感性……子どもたちが、物事を一つの方向から見るのではなく、固定観念や先入観にとらわれず、自分の目で見て自分の心で深く考えようとする人になれるように。そのために、本物とたくさん出会い実感すること、経験や体験を、失敗を恐れず積み重ねることを大切にできるように。

感動……本物に触れたときの感動、頑張れたときの感動、成し遂げられたときの感動、たくさんの感動を心に刻み、自己肯定感をあげていけるように。

感謝……感性を伸ばしたり、感動を感じたり、それらを与えてくれた全てのものに感謝の心を持ち、感謝の心を伝えられる子になれるように。

入学式・始業式

4月6日(月)、本校で入学式を開催しました。計12名のかわいい一年生を迎え入れることができました。背筋をピンと伸ばし、先生のお話をしっかり聞いた12名の一年生。キラキラと輝いた目が印象的でした。



入学式では、次のようなお話をしました。(概要版)
今年度は『あいさつ・まなびあい・みとめあい』を他のお勉強の道具と一緒にランドセルの中に毎日入れて6年間、元気に天見小学校に来てくださいね。」という話をしました。

- ① **あいさつ**…「おはようございます。」「こんにちは。」「さようなら。」「またあした。」「ごめんね。」いろんなあいさつがありますが、あいさつは、たくさんのお友達ができる呪文の言葉。たくさんのお友達を作ってくださいね。
- ② **まなびあい**…せっかく集まった12人のお友達。わからないことがあったら、教え合いで、どの子も勉強が楽しくなるような呪文の言葉。
- ③ **みとめあい**…お友達のいいところをたくさん見つけられる子になってください。そうすると、いいところを見つけてもらった子も、見つけられた子も心がハッピーになります。「みとめあい」は、みんなと仲良しになれる呪文の言葉。たくさんの人と仲良しになってください。

4月8日、始業式では、私が担任をしていたころ必ず、クラス初めに子どもたちと約束した6つのことについて話しました。そのころ、担任をしていた6年生に向けて子どもたちに話しかけるために書いたものなので、口語になっています。ご了承ください。

(9年前の懐かしの学級通信「スーさん日記」より)

①「おはよう。」「ありがとう。」「ごめんな。」「また、あした。」

あいさつをしっかり言える子になってほしい。こんな気持ちの通じるあいさつはないんやで。「ありがとう。」で、また、今度もいいことしようって気持ちになる。「ごめんな。」で、ぷんぷん怒っていた気持ちがスーッとおだやかな気持ちになる。「おはよう。」「またあした。」で、元気がないときも元気な気持ちになれる。あいさつは、みんなの心をいい気持ちにさせてくれる魔法の言葉なんやで。いつでも、どこでも「ありがとう。」「ごめんな。」「おはよう。」「またあした。」さっと、口に出せる素直な心、いつも持っていたいと思えへん?すごく、気持ちいい一日がすごせるようになるよ。

② 正直者になろう!

うそをつく、そのうそを隠すために、また次のうそをつかなあかんようになるねん。そうやって、どんどん、どんどん自分にうそをついて、心を重くしてしまっ、自分自身を苦しめることになってしまう。何が本当の自分かわからんようになってしま。友だちからも信用してもらえなくなってしまう。一番の友だち作りはそこからやと先生は思う。うそつかへん子ってどんだけやんちゃでもやっぱ信頼厚いよな一。

③「みんなを好きになる。」

難しいことやない。みんなのことを好きになったらいいねん。「先生、そんなん言うけど、嫌いな子かっているやんか。」そんな声が聞こえてきそうだけど、ほんまにその子のこと、嫌いなんか?合えへんところもあるかもしれんけど、きつと、ええところも、あるいは、がんばってるなって思うところも必ずある。人間の関係って、嫌いからは何もうまれへんて思っへんねん。好きな人からは、たくさんのが学べる。でも、きらいからは何も学ばれへん。せつかく、71人この学校に集まったんや。みんなから、いっぱいいろんなことを学んでや。できる子って勉強だけとちゃうで。よく見ててや。みんな、できることいっぱいあるで。みんな、いいところいっぱいあるで。それは、みんな違う。勉強できる子もおれば、体育がばつぐんな子もいる。気持ちが優しい子もいれば、掃除が上手な子もいるんやで。みんなでみんなのいいところ、勉強させてもらおうや。それが、クラス全員で(学校全員で)学ぶということや、と、先生は思うねん。みんなのいいところ、いっぱい見つけてや。

④「よっしゃ、やろ!」のかけ声で!

自分はもしかしたら、教室で出てくるいろんな意見に反対かもしれへん。けど、「それ、おもしろそうやな一。」とか、「やってみたい。」と思っている友だちも必ずいるはず。教室の中のかげ声一つでみんなのやる気がでるか、みんなのやる気が失せるかが決まってくる。

自分が企画する側になることもあるやろう。そのとき、いややって言われたらどんな気持ちになるか考えてみたら、何で「いやや一。」の言葉がだめで、「やろう。」の言葉がいいか、すぐわかるな。もし、どうしてもできないところがあるんやったら、全否定でなく修正案を出してみんなでもよりよいものを作ってほしい。

ただし、授業中の課題については、先生の指示に従ってほしい。いやなことでも、好きなことでも勉強しなあかんことはいっぱいある。その姿勢は大人になって、仕事に就いても同じことが言えると思うねん。大変なこと最後まで粘ってがんばらなあかんことはいっぱいある。どんなことでもチャレンジしてみてこそ、本物の天見小学校の子どもたちになっていくもんやと思っへん。そして、大人になっていく。どんなことでも、「やってみよう。」という気持ちの持ちようと、みんなの取り組む姿勢で、楽しくなる様にみんなで雰囲気を作っへんあかんよ。

⑤「いじめは絶対あかん。」

けんかといじめとどんな風に違うの?よく聞かれる。みんなは答えることができますか?けんかはまず、1対1とか少人数でやることが多い。そして、必ずそこには何らかのコミュニケーションがある。言い合い、たたき合い(暴力は賛成できんけどね。)自分の意見をわかってもらおうとする努力があるやん。それに、けんかは後で仲直りができる。みんな人間なんやから、時々意見が違うことだって、考えていることがよくわからないことだって、誤解だってあるよ。それが原因でけんかになることもある。けど、よく話し合ってみれば、相手の思っていることを理解できたり、誤解が解けたり、もっと仲が良くなったりできるやん。それが、けんかやと思っへん。

だけど、いじめは・・・意見が違うからって、もっと悪いことには「あいつ、気に入らんから」とかで一人の人をたくさんで意地悪したり、無視したり、ひとりぼっちにしたり・・・そんなこと、絶対に許されへんことや。何が楽しいねんと思っへん。やってるほうもおもしろくないはずや。やられてるほうは、もっといやや。そして、その後ろには家族もいる。自分の子どもが、もしいじめられて悲しんでいるのを見たら、親はどんな理由があってもやったやつを「許せん」からな。

それやったら、はじめから、意地悪や無視やそんなことせんと、ぶつかったらいいねん。「あんたのこういうところがいややねんけど。」・・・話してみたらいいねん。ちゃんとぶつかり合えたなら、最後には仲直りできる。分かり合える。でも、いじめにその先はない。

もう一度言う。絶対にいじめはあかん。いじめたくなるくらい腹が立つことがあるんやったら、いじめる前に先生に相談してほしい。もちろん、その反対にいじめられてると思っへんもすぐに相談してほしい。人間には、言葉がある。言葉を使ってコミュニケーションをとれるからこそ、人間なんや。言葉は人を傷つけるものではなくて、人と環境よく過ごせるためにあるもんなんやと言うことを覚えておいてな。

先生とゆっくり話ができてへん時は、おうちの人に話して。そしたら、必ずおうちの人には先生にも言うてくれるし、何かいい考えや知恵を授けてくれるやろ。先生かって、おうちの人かって、みんなが明るい顔して学校行ってくれることが一番うれしいことなんやから。お父さん、おかあさん、おじいちゃん、おばあちゃん、先生、みんな君らの味方やで。君らの笑顔を見るのが一番の幸せやねん。それだけ、わかっておいてな。大人は敵やない。みんな味方やっへんことを。

⑥「ルールを守ることは大切」

天見小学校にもたくさんのルールがあると思う。学校のルール、学年のルール、そして、クラスの中のルール、たくさんの人と集団生活をより生活しやすくするために、あるものばかりです。ルールは自分を守る道具と考えて下さい。時には「なんでそんなこと守らないといけないの?」と思うこともあるやも知れませんが、それでも、守らないといけないことは守らねばならないのです。それが、みんなを安心して暮らせるためのものだからです。

クラス始めに先生がまずみんなに話しかかったことを今回は書いてみました。

① 正直者になろう!

②「おはよう。」「ありがとう。」「ごめんな。」「また、あした。」

③「みんなを好きになる。」

④「よっしゃ、やろ!」のかけ声で!

⑤「いじめは絶対あかん。」

⑥「ルールを守ることは大切」

学級でも先生方の大切だと思うことについて、お話ししていただきます。その中にも、同じことをお話になっていらっしやれば、それは本当に大切なことだと思います。それ以外にも、いろんな先生のいろんな大切ごと、大事にしていきたいですね。